

レタス

1 畑の準備

レタスは酸性土壌での生育が悪いので、植え付けより2週間以上前に苦土石灰をまき、土壌改良をします。

土作り

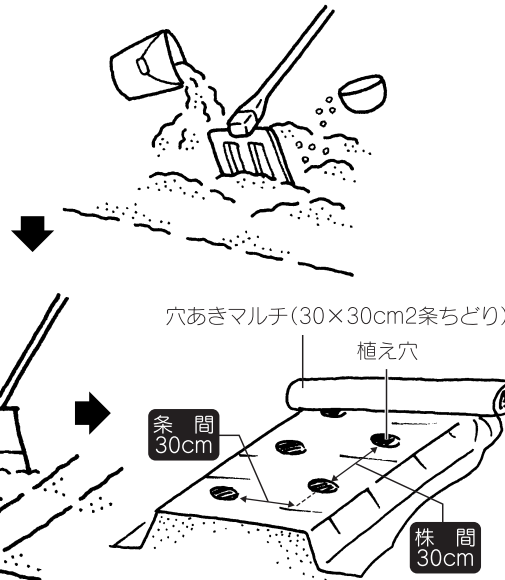
植え付けの2週間以上前までに苦土石灰、堆肥をまき深く耕します。

土作り
 ・苦土石灰: 1㎡あたり100g~120g
 ・JAファーム有機堆肥: 1㎡あたり2~3kg

元肥・うね立て・マルチ張り

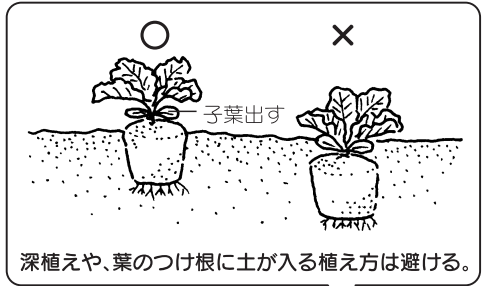
植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行い、穴あきマルチを張ります。

元肥
 ・JAファームやさいの元肥:
 1㎡あたり100~120g(ひと握り約40~50g)



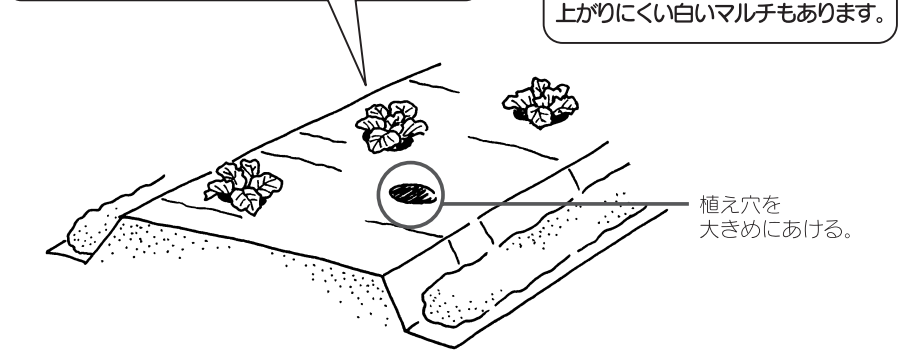
2 植え付け

苗は本葉4~5枚で植え付けます。苗には前日、十分に水をやり、根鉢を崩さないよう植え付けましょう。



ポイント マルチ張りの効果!!

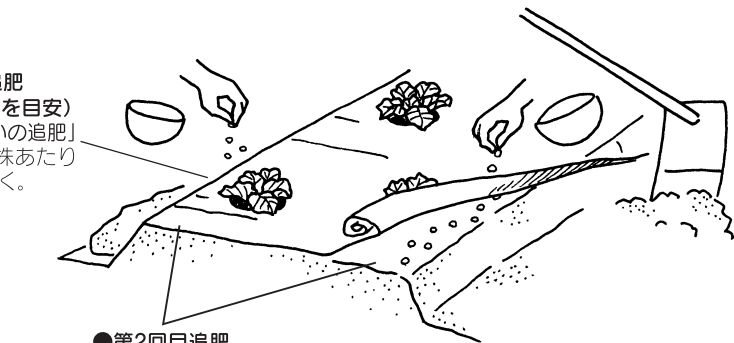
1. 雨による土や泥のはね返りを防ぎます。
 2. 雑草や病害虫を減らします。
 3. 土の温度と湿度を適度に保ちます。
- レタスは暑い時期が苦手。地温が上がりにくい白いマルチもあります。



3 追肥・土寄せ

肥料切れさせず、葉の数を増やし、締まった大きい株に育てます。

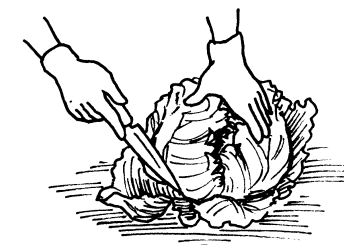
●第1回目追肥
 (植え付け2週間後を目安)
 「JAファームやさいの追肥」を株のまわりに1株あたりひとつまみ程度まく。



●第2回目追肥
 (中央の葉が巻きはじめたら)
 1回目と同量をマルチをめくり、うね両肩部にまく。

4 収穫

玉が良く締まって、手の平で球の頭部や側面を押えてみて、ゴムまりの様な弾力のものが収穫適期です。



玉レタスは葉に光沢があり、頭部を手のひらで軽く押えてみて球に弾力がある頃、収穫。



「リーフレタス」の育て方

リーフレタス(非結球レタス)は結球タイプより肥料を多めにまき、厚みのある柔らかい葉をたくさんつけるようにします。追肥は植え付け2週間後、更にもその2週間後の2回行います。収穫の目安は、草丈が20~25cmが適期です。



科名	キク科
原産地	地中海沿岸、西アジア
連作障害	あり(1~2年)

制作
JAファーム 専門部会
 (無断転載禁止)